

嵐山溪谷ぶらりさんぽ してみませんか

嵐山町観光協会



①小倉城跡

500年くらい前の戦国時代の山城。
関東では珍しく大規模な石垣が築かれている。

②遠山^{おうけつ}甕穴

川底のくぼみに小石などがはまり、水流によって
岩石が削られ、ほぼ垂直に円形の穴ができる。
人が入れるくらい大きいものもある。自然の芸術。

③嵐山町最古の本格的コンクリート橋 「谷川橋」

昭和37年に建設された。

④山の神とスダジイ

巨岩のしたにある社が山の神。その岩上に
暖帯の代表的な木「スダジイ」がある。

⑤温泉遺跡「幸吉の湯」

かつて松月楼の温泉の源泉遺跡。嵐山溪谷
観光駐車場への道端に、現在も当時の湯を
引いた鉄管を見ることができる。

⑥道元の滝と水族館跡

ときがわ町の道元平の麓から流れる小川が
槻川と合流するところにできた滝。
隣の崩れたコンクリートの大きな壁は
昭和10年代に建設された水族館跡。

⑦ごりん沢の展望

槻川が180度曲がる頂点の場所。
昔から「提灯お化け」が出るので有名。

⑧与謝野晶子歌碑

昭和14年与謝野晶子と娘藤子が松月楼に
滞在し、「比企の溪」29首を詠んだ。

⑨嵐山町名発祥の地碑

昭和3年日本初の林学博士本多静六博士が
この地を訪れた際、京都の嵐山にそっくりだと
「これは武蔵嵐山だ」とつぶやいた。
町名は博士のその一言に由来しています。

⑩木造旅館と展望風呂の跡

昭和初期から今の展望台一帯に「松月楼」という
木造旅館があった。昭和30年代廃業。
展望風呂の基礎部分の黄色いコンクリートが
現在も崖に張り出すように残っている。

⑪^{こう}紅れんせき片岩

水車用水取水堰の周辺にピンクの岩。
別名「乙女岩」

⑫槻川の水流を利用した製粉水車場遺跡

現在オートキャンプ場になっているところが
製粉水車場の跡。地元では「くるまんち」
(現月川荘)とよばれた。また、遊歩道終点
手前の水流の中に古い木の杭が取水堰の跡。

⑬かせ岩

槻川が直角に曲がる淵に水中から突き出た
三角の平たい岩。夏の水遊びの時、この岩に
登るとかせる(かぶれる)といわれ
地元の子供は登らなかった。

⑭冠水橋

大水時は橋桁の上を水が流れ、橋が破壊
されないように工夫された橋。かつては
山仕事用に木造の季節橋を冬の間だけ
架けていた。

⑮^{きっこうごぜん}亀の甲岩と吉光御前の伝説

対岸の水中から出ている大きな亀の形をした岩。
850年ほど昔、源義賢の娘(木曾義仲の姉)
吉光御前が遊んだといわれている場所。

⑯炭焼窯跡

近くの村人が炭焼をした窯跡。二つ並んでいる。
天井は落ちているが焼け土の壁が見える。

⑰新しい遊歩道と飛び石

2015年完成の遊歩道。バーベキュー場から
上流に進み、槻川を飛び石で渡れば
嵐山溪谷の展望台・トイレに約20分で到着。

⑱^{せんじゅいん}千手院伝説の洞窟

崖下にぽっかり空いた洞窟に入ると
あら不思議。洞窟から出れば千手堂の
お寺千手院。

①嵐山溪谷バーベキュー場トイレ

人に優しく清潔なトイレ。
さわやかトイレでいざ溪谷へ出発!